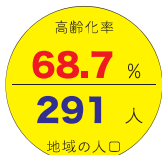


## 北山校区コミュニティ協議会（始良市）

# 「竹」が結ぶコミュニティの輪



竹水鉄砲合戦他 2019

### 地区概要

始良市の最北部に位置する自然豊かな森林と田園風景の広がる農村地帯で、始良市17校区の中でも大きな規模の面積を有する校区。8自治会で構成され、住民の多くが農業従事者。

### コミプラ設立の経緯

北山校区では、人口減少が進んでいたことから地域の将来に対して危機感を抱いており、平成21年度以降、休耕農地を活用したそばづくりやそば打ち体験、集落ごとの食べ歩き行事を開催するなど、独自の活性化の仕組みづくりを

進めてきた。

平成26年度には校区コミュニティ協議会準備委員会を立ち上げ、住民の意見交換等の話し合い活動を経て、平成27年度に北山校区コミュニティ協議会を設立した。

コミュニティ組織内に、総務部、青少年・スポーツ振興部、環境・安全・地域づくり部、地域福祉部の4つの専門部会を設置し、活動している。専門部とは別に地元の人と地元出身者で構成されている壮年部があり、専門部会のサポートとして地域内外の人がコミュニティ活動に参加しやすい体制づくりを工夫している。

### 特徴的な活動

#### ①地域内外広く楽しめる！師走の祭典

令和元年からクリスマス前後の日曜日に「師走の祭典」を開催しており、例年200人程度が来場している。会場では、地元の竹材を利用したスタードームの設置、孟宗竹のクリスマスツリー、電飾によるライトアップが行われる。体験コーナーでは、そば打ち体験とスタードーム作り。屋外ステージでは、和太鼓や吹奏楽部の演奏などのクリスマスコンサートが行われる。さらに、キッチンカーやテントブースでいろいろな販売を行う北山マルシェがある。

このイベントで、地域住民はもちろん地域外の若年層や家族連れも楽しんでもらうことで、地域外の人に北山という地域を知ってもらうとともに、交流人口の増加につながっている。また、将来的には移住者の増加につながることを期待している。



師走の祭典

#### ②これぞ地域資源！黄金の北山筍

地区には竹林が多く、昔から筍は地域の人々にとって身近な食材だった。筍の水煮も保存食として各家庭で作っていたが、これを商品化できないかと地域で試行錯誤を重ねた結果、「黄金北山筍」が誕生した。

「黄金北山筍」は、筍掘りから洗浄、茹で、瓶詰め、ラベル貼りまで全て地域の人々で行われており、物産館などでの人気商品となっている。

また、始良市のふるさと納税の返礼品としても採用されており、令和3年度は1,000本以上が返礼品として出荷されるなど、地域資源を活かした重要な収入源となっている。



黄金北山筍



製造風景

#### 今後の展望（コミプラの声）

令和4年3月31日に地域の路線バスが廃線となったため、予約型乗合タクシーの運行が4月1日より始まった。これは、予約したタクシーが自宅まで迎えに来て、地域外のスーパーなどの決まった乗降場所まで送迎してくれる、いわゆるデマンド型のサービスとなっている。利用料金は1回200円で、現在のところ利用者も多く好評。また、農協の移動販売車や移動金融車に週一度運行してもらっている。これらを継続していくとともに、特認生などの移住希望者のために、空き家を活用したいと考えている。

#### 始良市から一言

北山地区の高齢化率は68.7%で、特認校である北山小学校は児童数42人のうち地元児童は5人（令和5年2月時点）と、少子高齢化はますます進行している状況です。そのため、ふるさと納税返礼品である「黄金筍」のPRをすることでコミュニティビジネスとして展開し、校区の活性化につながってほしいと期待しています。

併せて、毎年4月に行う「さくら祭り」は、地区住民の多くが参加し交流を深める場となっており、北山校区のスローガンである「支え合う思いやりと、ともに生きる長寿の里づくり」に沿った原点の事業だと感じています。

#### 利用した補助金など

- ・地域貢献サポート事業（県）（H30年度）
- ・校区コミュニティ協議会運営補助金（市）（H27年度～）
- ・校区まちづくり事業補助金（市）（H30～R2年度）
- ・企画提案型校区活性化事業補助金（市）（R3年度～）



始良市／北山校区  
コミュニティ協議会

Passion

子どもから高齢者まで集える  
コミュニケーションの場づくりを！